

## は　じ　め　に

本県では、男女共同参画社会の実現に向けて、「かながわ男女共同参画推進プラン（第4次）」を策定し、様々な施策を進めておりますが、「リケジョ活躍促進」は、その重要な施策の一つとして取り組むこととしています。重点目標1「あらゆる分野における男女共同参画」の「女性の参画が進んでいない分野への女性の参画支援」の主要施策として、多様な視点や発想が求められる科学技術分野における女性の参画を進めることとしています。リケジョ活躍促進については、国の「第4次男女共同参画基本計画」においても、「あらゆる分野における女性の活躍」政策領域の5つの分野の一つとして「科学技術・学術における男女共同参画の推進」を掲げ、「我が国が国際競争力を維持・強化し、多様な視点や発想を取り入れた科学技術・学術活動を活性化するためには、女性研究者・技術者の能力を最大限に発揮できるような環境を整備し、その活躍を促進していくことが不可欠」としているところです。

県内に在住する研究者・技術者数が人口比で全国一位であるという本県の実状（次世代のリケジョ育成ポテンシャルも高い）も踏まえ、当センターでは、県内女子中学生、高校生の理系志望（特に理工系進学・就労、研究職技術職系進学・就労）を促進・支援することを目的とした「かながわりケジョ・エンカレッジプログラム」という出前講座プログラムを平成29年度から精力的に進めています（「かながわ女性の活躍応援団」団員企業等や、平成29年10月に協力協定を締結した特定非営利活動法人日本女性技術者科学者ネットワーク（以下、JNWES）から、県内の中学校、高等学校等に、社会の第一線で活躍する現役のリケジョ（理工系女子）を講師として派遣するものです）。

このプログラムは、現役リケジョが講師として生徒の前に直接立ち、自身の進路選択、就職先選択の経験や、子育ても含めた生活と仕事の両立の実際などを具体的に直接伝えることを特徴としており、理系志望についてだけでなく、人生の生き方選択、好きなことを見つけていくこと（見つけてよいこと）などについても良い気づき材料となっているようで、継続開催や実施校拡大に繋がっているところです。また、男子生徒も対象に含めて実施する場合も多くあり、男子生徒にも好影響を与えているように伺っています。（男女共同参画という視点で考えると、リケジョ＝女性限定ではなく、性差→ダイバーシティ→多様

な生き方・イノベーションへ、本プログラムもそう進化すべきなのかもしれません)。

この調査研究は、こうした状況を踏まえ、「かながわりケジョ・エンカレッジプログラム」の今後の実施拡大を視野に入れ、その発展・進化の検討材料とするために実施したもので、出前講座の実施概要をまとめるとともに、講座の参加者、実施校教員、講師の一翼を担うJNWES会員（現役リケジョ）を対象としたアンケート調査や有識者ヒアリングも行っています。同プログラムの直接目標である、女性の理工系進学・就労、研究職技術職系進学・就労の促進につながることはもとより、プログラムの更なる進化に寄与するとともに、科学技術分野における女性の参画についての県民の関心の向上や、男女共同参画社会実現への一助になれば幸いです。

最後になりましたが、お忙しい中、調査に御協力をいただきました、JNWES理事長をはじめ会員の皆様、講座実施校の教員・生徒の皆様方に、厚くお礼申し上げます。

平成31年 3月

神奈川県立かながわ男女共同参画センター

所長 山本 長史

「リケジョ・エンカレッジプログラム」の効果及び今後の進化発展について  
—理工系進学・就労、研究職技術職系進学・就労の女性割合の増加に向けた  
プログラムの意義と今後— 目次

---

[本編]

調査概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査の手法	4
3. 調査期間	6
資料I 「かながわりケジョ・エンカレッジプログラム」中学・高校生向けリケジョ (理工系女子) 促進出前講座について	7
<b>第1章 有識者インタビュー</b>	13
JNWES (NPO法人日本女性技術者科学者ネットワーク) 理事長 木村 了 氏 「リケジョの必要性についてや、リケジョ・エンカレッジプログラムに望むこと、 また、女子中高生へのメッセージ」	13
<b>第2章 平成30年度「かながわりケジョ・エンカレッジプログラム」による 出前講座の実施結果報告(県立高等学校対象)</b>	17
1. 県立追浜高等学校実施結果	17
2. 県立市ケ尾高等学校実施結果	21
3. 県立厚木東高等学校実施結果	25
4. 県立鶴嶺高等学校実施結果	29
資料II 投影資料「エンジニア 野田香織 誕生まで!!」(県立追浜高等学校)	33
資料III 投影資料「夢を実現しよう You can do anything! その為に君たちは高校に 通っている」(県立市ケ尾高等学校)	37
<b>第3章 出前講座に参加した生徒を対象としたアンケート調査の結果</b>	41
1. アンケート調査概要	41
2. アンケート調査結果	42
(1) 回答結果(単純集計)	42
(2) 回答結果分析(クロス分析)	44
(3) 回答結果(自由記述部分)	51
資料IV 出前講座に参加した生徒を対象としたアンケート調査票	71

<b>第4章 出前講座実施校の全教員を対象としたアンケート調査の結果</b> ……………	72
1. アンケート調査概要……………	72
2. アンケート調査結果……………	74
(1) 設問1 理工系に進学・就職する女性が少ない理由……………	74
(2) 設問2 理系の進学・就職について、知識・情報不足を感じるか……………	78
(3) 設問3 理工系についてのイメージ……………	83
(4) 設問4 「かながわりケジョ・エンカレッジプログラム」に期待すること…	85
(5) 設問5 自由意見……………	88
資料V 出前講座実施校の全教員を対象としたアンケート調査票……………	90
<b>第5章 JNWES（NPO法人日本女性技術者科学者ネットワーク）会員を対象 としたアンケート調査の結果</b> ……………	92
1. アンケート調査概要……………	92
2. アンケート調査結果……………	94
(1) 設問1 「理系」に興味を持った時期・きっかけ……………	94
(2) 設問2 「理系」に進学することを決めた時期……………	96
(3) 設問3 「理系」に進学するにあたり、家族や教師からの反対の有無……………	98
(4) 設問4 大学（学部）での専攻……………	101
(5) 設問5 大学（学部）での専攻を選んだ理由……………	103
(6) 設問6 影響を受けた「理系」の人物……………	105
(7) 設問7 「かながわりケジョ・エンカレッジプログラム」への意見等……………	108
資料VI JNWES会員を対象としたアンケート調査票……………	110
<b>第6章 まとめ～かながわりケジョ・エンカレッジプログラムの更なる進化 に向けて～</b> ……………	112
1. リケジョ・エンカレッジから、ダイバーシティ・ベイスド未来社会人材育成へ…	112
2. より効果的なプログラム実施手法への改善について……………	113
3. 将来人材育成と活躍可能な職場環境づくりの同時展開（車の両輪）について…	117

## [統計資料]

○ 居住地における研究者・技術者の男女別人数（都道府県別）……………	121
------------------------------------	-----